

大空町の財政健全化判断比率

財政健全化法(地方公共団体の財政の健全化に関する法律)で、毎年度、赤字の割合や借金の状況など全国統一の指標として算定し、指標を監査委員の審査に付したうえで、議会に報告し、数値を公表することが定められています。公表する数値は、市町村の財政状況を実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの財政健全化判断比率と、地方公営企業における資金不足比率の経営健全化比率です。

区 分		大空町	早期健全化段階 (イエローカード)	財政再生段階 (レッドカード)
①	実質赤字比率	赤字なし	14.77%	20%
②	連結実質赤字比率	赤字なし	19.77%	30%
③	実質公債費比率	16.2%	25.0%	35%
④	将来負担比率	44.7%	350.0%	—
⑤	資金不足比率	不足なし	20%	—

財政健全化判断比率からわかること

『赤字』があるかないか？

① 実質赤字比率

一般会計の赤字の額を見る指標

② 連結実質赤字比率

一般会計と他の特別会計をあわせた全会計で赤字の額を見る指標

⑤ 資金不足比率

使用料収入を基本とする公営企業会計(「簡易水道事業」「下水道事業」「個別排水処理事業」の3つ)の赤字の額を見る指標

Q大空町に赤字はあるの？

町の一般会計及び他の7つの特別会計において赤字はありません。

『借金』の返済はどのくらいか？

③ 実質公債費比率

標準的な収入に対し、過去に行った借金の返済(実質的な公債費)の割合を見る指標

Q大空町の「借金」返済額は多いのですか？

実質公債費比率は、H22に比較して△1.7ポイント改善され、16.2%と年々減っています。

全道平均と比較するとまだ「高い」数値ですが、財政健全化の取り組みを実施しており、今後も徐々に改善していくと思います。

H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	全道平均 (H23)
23.4%	21.4%	17.9%	16.2%	11.7%

『貯金』と『借金』はどのくらい？

④ 将来負担比率

町債などの「借金」の残高や職員の退職金の見込み額などから、現在の「貯金」である基金の残高などを控除した将来的な負担額を算出し、標準的な収入で除して指標としたもの。

H20決算	H21決算	H22決算	H23決算	全道平均 (H23)
117.3%	89.8%	64.4%	44.7%	87.2%

町債残高

合併時 207億9,498万円

↓ 41億5,098万円減少

H23決算時 166億4,400万円

基金等残高

合併時 32億3,392万円

↓ 8億9,686万円増加

H23決算時 41億3,078万円

Q町の「貯金」と「借金」は？将来的な負担は？

町の将来負担比率は、19.7ポイント改善され、44.7%になっています。合併後「借金」(町債)の残高は減少し、「貯金」も回復してきているので今後も将来負担比率は減少していくことになります。「借金」(町債)の全会計の残高は、合併時に比較して6年間の間に41億5,000万円減少し、「貯金」の残高は8億9,600万円増えたことになります。

大空町の将来負担比率は全道平均よりは低い数値ですが、なかには将来負担比率が0(ゼロ)となっている町村もあります。今後は世代間の公平の観点から、もう少し「借金」の残高を減らし将来的な負担が増えないように健全化の取り組みを継続したいと考えています。